

霜月 愛南文芸

城辺俳句会

稲雀飛び交ふ空の晴れ渡る
 霊峰にしみて幾年秋の水
 秋彼岸一日写真整理かな
 川伝い野路を歩めば初秋の気
 向老学上野千鶴子を讀む良夜
 一日の重さを脱げり単足袋
 通学の山路流るる秋の水
 山門の仁王の指の秋気かな
 透くるもの皆清らなる水の秋
 唐黍を焼けば昔のことばかり
 新涼や「御馳走様」と声に出す
 この樹下は風の通ひ路秋涼し

山田 静恵
 田村 治子
 吉田 丸美
 宮田志賀子
 橋本 百代
 山本 節子
 加納 幸子
 西羅由喜子
 井手 幸子
 大浜 紀子
 仙波登志子
 大和田いそ子

城辺川柳会

「歌」
 歌ばかりうたいたい仕事はあと廻し
 友のこと偲び歌えば泣けてくる
 鼻歌で咲かせましようか老いの部屋
 ラストソング皆で肩組み宴閉じる
 歌も出る笑顔も出るよ善い日だね
 懐かしいふと口ずさむ子守歌
 命ある限り我が子に応援歌
 限界にせめて歌でもケセラセラ
 百歳になつて歌うは「七つの子」

飯田 律子
 沖 佐賀
 本多 暁
 本多 一会
 矢鋪 都
 木戸富士子
 橋本 百代
 稲田つるみ
 藤森 玉子

▶俳人をご紹介します

城辺俳句会 山田静恵さん(城辺甲)

B&Gと一緒に活動していた加納さんに勧められて、俳句の門を叩いてみました。当時は季語も分からず、才能も感性もないままのスタートでした。



季語の奥深さや言葉選びに苦勞しつつ、九年が過ぎ今日に至っています。大和田先生や句会の皆さんに助けられ、親、兄、姉や愛犬、身の回りの自然を自分らしく句作したいと思っています。俳句は自分を見つめ直す、大切な時間です。

はじめまして。赤ちゃん。

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

地区名	亡くなった方	満年齢
-----	--------	-----

※右記9月受け付け分(敬称略)情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意を頂いております。

死亡後の手続きについては町ホームページをご覧ください。



愛南町ホームページ